

**「さいたま市断熱効果等体感環境ワークショップ業務」
質問に対する回答**

質 問	回 答
①各回の受講者数について 安全確保と指導のための人員体制を検討するにあたって、各回の同時受講者数目安をお教えてください。	各校における受講者数（想定）は以下のとおりです。 ・野田小学校：約２０～３０人 ・与野南小学校：約３０～４０人
“採光性があり断熱効果がある素材”について クリアのポリカーボネートが条件を満たしていて適切ですが、透明性で屋外の景色がどこまでクリアに見える必要があるかで、アクリルの選択も必要になってきます。 しかし金額が４～５倍になってしまいます。 Q「クリア具合」か「ある程度クリアでさらに断熱効果強化」どちらを優先すれば良いでしょうか？	「ある程度クリアでさらに断熱効果強化」を優先します。
・「別紙１ 断熱パネルのイメージお呼び窓について」を参照すると恐らくアクリル板２枚で木枠を挟み込むイメージのように見受けられます。 ・長持ちや破損の可能性を考えるとアクリル板の方が適しています。 Q前年度実施の素材や金額はお伺いできますでしょうか？	前年度実施の素材や金額は以下のとおりです。 ・素材：木材、プラスチック段ボール、アルミ製の遮熱シート ・金額：５,９９５,０００円※ ※「令和６年度さいたま市断熱効果等体感環境ワークショップ業務」委託一式の金額であり、ワークショップ開催に係る人件費や材料費等に加えて、今回の業務仕様書には含まれていない天井断熱工事やデマンド換気扇設置に係る施工費を含みます。
Qまた、何年持たせるかの想定があればお教えてください。	断熱パネルの設置年数は想定していませんが、断熱パネルの作成部材（ポリカーボネート等）の耐用年数が目安になると考えています。
③窓ははめ殺し窓なのか、開閉可能にするかによって材料が違ってきます。 どちらを想定すればよろしいでしょうか？ ご教示よろしくお願いいたします。	断熱パネル設置予定の教室の窓は、いずれも開閉可能な窓です。 なお、断熱パネルの設置方法は、適宜着脱可能とすることを想定しています。そのため、断熱パネルを設置したまま窓の開閉を可能にするような複雑な構造にすることは求めません。